

TOPICS

第6期生 『地域エンパワねっとII』 取り組み途中経過 STEP3 共有する

エンパワ6期生※『地域エンパワねっとII』、本格的にスタートしました！

地域のこと、チームで動くということ、地域の方々と協働するということ…『地域エンパワねっとI』を終え、いろんなことが少しずつ分かり始めたエンパワ6期生たち(計9チーム、履修者48名)。各チームごとに『地域エンパワねっとI』の自己評価、これからの目標と取り組みについてまとめてもらいました。



『地域エンパワねっとII』では、『地域エンパワねっとI』で地域の方々とともに発見し考察した課題について、その「解決」のための具体的な企画を立案、実施していきます。



チーム名(Cは中央地区、Sは瀬田東学区)
活動のテーマ:「」

- 『地域エンパワねっとI』の自己評価(反省、成果など)
- 『地域エンパワねっとII』の目標と取り組み

C21 BOSS 「イベント×子ども×つながり」 =地元愛♡

- ① 体育振興会さん、子ども育成連絡協議会さんのイベントに参加し、関係がくれたが、その一方で頼りすぎた。
- ② 自らイベントを企画し、活動していくことが目標です。

C22 こけし 「発信!!大津の良いところ」

- ① 地域と協働せずに学生のみで動いてしまい、迷惑をかけてしまった。またその自覚が足りなかった。
- ② マンション住民の方に大津のことを知ってもらう。そのための場として「まちづくりカフェ」を開催する。

C23 カラフル豆 「高齢者たちとともにつなごう!」

- ① 目的が定まらないまま行動していた。地域の方と殆ど出会えていない。
- ② 一人暮らしの高齢者どうしがつながれるようにイベント(あみもの教室など)を開催する。

C24 BWC04 「“カッコいい大津”龍大生の第二の故郷」

- ① チーム内の情報共有がうまくいかなかった。やりたいことや素材は豊富にあがったが発揮できなかった。
- ② 協働団体と相談しながら学生対象の琵琶湖クルージング企画を進める。学生にかっこいい大津を知ってもらう。

C25 めろん 「マンション住民と地域社会をつなぐ!」

- ① マンション自治会に対するアクションを取るが遅かった。テーマが固まり「エンパワII」へ向けての道が決まった!
- ② 地域(中央の町)とマンション住民の方との交流のきっかけと場づくり。

S21 ジュピター 「子どもたちに食を通じて自然と触れ合ってほしい」

- ① チーム内の伝達・共有不足で地域の方にも連絡が遅くなり迷惑をかけてしまった。
- ② 文化振興会と地元の食材を使った子どもたち向けのイベントの企画を進める。

S22 ぱすてる 「中高年男性が地域とつながり きっかけづくり」

- ① インタビューで、男性の地域とのつながりは意外と活発だと知ることができた。
- ② 食を通じて異なる自治会の中高年男性が交流するイベントを行いたい。

S23 はらぺこあおむし 「清掃とあいさつから防犯を考える」

- ① 「清掃とあいさつ」は直接的には「防犯」につながらないことが分かった。どちらのテーマに重きを置くべきか悩んだ。
- ② 清掃を通じて地域の人と龍大生をつなぐ企画を考える。

S24 ちえっく 「打倒!龍大生の迷惑行為」

- ① もう少し地域に出るべきだった。関わる団体を決められなかった。
- ② 龍大生の迷惑行為についてのアンケートを社会学部生対象にとる。その企画書について地域の方よりアドバイスをいただく。イベント実施後、最終の街頭調査を行う。

※エンパワ6期生…前年度後期から『地域エンパワねっとI・II』に取り組んでいる学生たちです。

NEWS

2014年度大津エンパワねっと運営委員メンバー紹介

計13名(社会学部教員9名・教務課4名)の
2014年度、大津エンパワねっと運営委員メンバーからのコメントです!

- ① 専門(科目)
- ② 大津エンパワねっとについてひと言

6…エンパワ6期生担当教員 S…瀬田東学区担当 C…中央地区担当



社会学科 6 C 脇田 健一

- ① 環境社会学、地域社会学
担当科目は「地域社会論I・II」
- ② 地域の皆さんと課題解決・魅力発進のためのプロジェクトに取り組む経験を通して、自分自身のなかに眠っている可能性や、仲間や地域のみなさんと連携することの大切さを知ることになります。エンパワを通して、総合的な「人間力」を伸ばしてください!!

コミュニティマネジメント学科 6 C 笠井 賢紀

- ① まちおこし論、語りから未来を紡ぐ
- ② 授業の主担当になって一年が経過しました。学生を支え、地域と学生をつなぐことに貢献できたか自信はありません。学生が地域の方にエンパワメントされるだけではなく、地域をエンパワメントできるように努めます。

社会学科 C 原田 達

- ① 社会学のあゆみ
- ② これ、かなりハードな科目だと思います。でも、ハードであればあるほど手に入れることができるのも大きいです。地域は「生きて」いますが、その「生命」があなたの「生命」と共振すればいいですね。



地域福祉学科 6 S 筒井 のり子

- ① 地域福祉論、ボランティア・NPO論
- ② 「エンパワI」の報告会で学生たちは地域の皆さんから温かいコメントをいただき、とても力づけられたようです。「エンパワII」では、今度は学生の新鮮な発想やフットワークで地域に“元気”を提供できるといいな。

臨床福祉学科 6 S 高松 智画

- ① 高齢者福祉、介護福祉
- ② エンパワは、地域を歩き、地域に学び、地域の人びととともに課題を発見し、その解決のための具体的な企画を立て、実施し、総括する、4学科横断プログラムです。大変なことも苦労することも多いけれども、それだけに得られるものは大きいです。

コミュニティマネジメント学科 C 畑中 哲雄

- ① 地域に軸足を置いたジャーナリズム研究
- ② 龍谷大学社会学部の「目玉」ともいえる授業に参加できることを誇りに思います。東京暮らしが長かったので、大津について詳しくありません。でも、せっかくの機会なので、学生と同じく新鮮な気持ちで地域に飛び込んでいきます。よろしくお願いします。

地域福祉学科 S 長上 深雪

- ① 社会福祉原論
- ② インターシップや学内での就職面談でエンパワ受講生と会うと、「さすが〜エンパワ受講生」と思う場面がよくあります。元々もっている各自の能力をさらに深化・進化させるのがエンパワなんですね。今年も縁の下で頑張ります。

臨床福祉学科 S 西川 淑子

- ① 高齢者福祉論、社会福祉分野の人物史
- ② 龍谷大学に勤めて20年が過ぎました。大津市の行政や福祉施設とは少々関係を築いてもきましたが、住民の活動や地域性を体験的に知る機会はありませんでした。これを契機に皆さんと一緒に大津市をじっくり味わってみたいと思っています。



おかげさまで
大津エンパワねっと、
8年目をむかえました。

社会学部教務課4名を代表して…

教務課長 浦田 優子

教務課は、龍龍の管理や予算等、間接的な支援をしています。報告会や報告書、HPを拝見し、地域の方々のご尽力と担当している先生方の熱意とともに、エンパワ受講生が、最初は一所懸命ながらも右往左往していたのが、現場を体験して徐々に成長されているのを頼もしく感じています。1年生の皆さんは是非チャレンジして下さい。地域の皆様には今年度も引き続き、お世話になります。この場をお借りして感謝申し上げます。



スケジュール・お知らせ

5月

- 6日(火)、13日(火)、19日(月): 『大学と地域をつなぐ特別講義I』
- 9日(金): 『地域エンパワねっとII』全体授業
- 14日(水): 大津エンパワねっとを進める会(中央)
- 17日(土): 『大学と地域をつなぐ特別講義II』(瀬田東 まち歩き)
- 20日(火): 大津エンパワねっとを進める会(瀬田東)
- 22日(木): 大津エンパワねっと運営委員会(学内)